

【別添】

鹿児島学力・学習状況調査 企画提案競技 審査基準

項目		評価基準	配点
1 業務内容に対する全体概要		システム開発における基本方針について、具体的に示されているか。	5
		委託業務の内容や実施作業について網羅的かつ具体的に示されており、委託業務のスケジュールについて具体的かつ予定期間内に完了するように計画されているか。	5
2 学力調査問題の内容		学習指導要領に基づいた調査問題を作成することができるか。	5
		C B Tの特性を生かした調査問題を作成することができるか。 (【調査問題】音声や動画等、多様なメディアを使用して作成できるか。) (【解答方法】選択式問題については、記号等をクリックやタップで選択できるか。また、数字による短答式の問題については、直感的に数字を入力できるようになっているか。また、記述式問題については、キーボード入力(ソフトウェアキーボードもしくはハードウェアキーボード)できるようになっているか。)	5
		「知識・技能」に関する問題と、「思考・判断・表現」に関する問題のバランスを考慮した一体的な調査問題を作成することができるか。	5
		当該学年の12月までの学習内容について、各領域のバランスを踏まえて調査問題を作成することができるか。	5
3 調査結果の提供	① 提供資料	調査結果の提供資料が、児童生徒・保護者・学校・教育委員会が理解しやすく、学習や指導に活かされるものとなっているか。	5
	② 調査結果集計の仕組み	採点結果を迅速かつ正確に集計し、学力状況をより多角的にとらえることができる結果一覧などの分析表を作成するための仕組みが構築されているか。	5
4 機能の操作性、実効性、安全性	① 調査時の状況確認、操作性	調査時に個々の児童生徒が自分の解答状況や進捗状況を確認できるよう、目次を閲覧したり、残りの問題数を表示したりすることができるか。また、学級ごとに実施時間の指定、児童生徒のログインや解答の状況を確認したりできるようになっているか。	5
	② 結果の活用	問題の正誤に応じたワークシートを児童生徒が一覧で閲覧できるようになっているか。	5
	③ 操作の簡易性	当システムを利用するユーザーが、少ない作業で各種調査の結果やワークシートを閲覧できる画面遷移となっているか。	5
	④ 不測の事態への対応	障害対応や故障対応の考え方、対応体制や対応フローについて、具体的に示されており、特に調査時における不慮のネットワーク遮断等への備えがあるか。	5
	⑤ システムの安全性	システム利用における権限設定、セキュリティパッチの適用やウイルス対策について、具体的に示されているか。	5
5 業務遂行の実現性	① テスト要件及びシステムに関する研修	システムの本格稼働までに段階的に実施する各種テストの要件について、具体的に示されているか。また、システム導入時の研修に係る方針、計画、実施内容について、具体的に示されているか。	5
	② データの移行	データ移行及び初期セットアップデータの移行に係る方針、計画、実施内容について、具体的に示されているか。	5
6 システムの拡張性	① データの更新	学校基礎データ等の更新ができるようになっているか。また、ユーザー(児童生徒)が年度を超えて調査結果等を閲覧できるように、進級に伴う学級編成の変更に対応できる仕組みになっているか。	5
	② 将来性	将来の業務量やデータ量の増大に対する対応方針やシステムの拡張方法について、具体的に示されているか。	5
7 学力調査業務の実施能力	① 経費	事業の積算にかかる単価や経費が妥当であり、業務の提案内容と整合性がとれているか。	5
	② 実績	これまでに、都道府県や政令指定都市等でのC B T方式による学力調査の仕様実績はあるか。	5
計			100